かわら版

らいふすけっち

2012.7

～ 前木組お客様対談シリーズ ⑳ ～

新築・リフォーム・太陽光発電など、前木組のお客様にその後を伺いました！

島の“エコ”不動産

今月は、宇石垣にある仁開商事へ訪問しました。

代表者の仁開氏宅は、氏の進学、就職を経てUターン後、弊社施工で店舗兼2階建住宅の建築をしたのが24年前にもなるそうです。

今回、建物のリニューアルを決め、外壁塗装、事務所の壁には珪藻土、照明を全てLEDに替え、そして太陽光発電も導入しました。

昨年塗った事務所内の珪藻土効果は？の質問に対し、「空気がとてもキレイになったのを実感していますよ！」と女性スタッフの吉見さんはおっしゃいます。

そして常々なんとかしたいと思っていた毎月の電気代の高さ！そんな矢先に、旧友でもある前木社長に太陽光発電を勧められ、ついに導入を決めて頂きました。

太陽光発電を設置してから約1ヶ月ですが、家族の節電意識も上がり、毎日モニターの発電量を見るのが楽しみだそうです。

「仕事でマンション管理をしてるから感じるけど、建物は20年も経ったら手をかけないとね。賃貸物件なんかは、10年単位でメンテナンスするのに、自分の自宅となるとなかなかね・・・

仁開商事前にて。（右）仁開社長と（左）前木社長。

でも24年目にしてちょっと頑張ったかな！」と、今回のエコリフォームで今年の断熱・節電効果に期待していると話してくれました。

“何事も凝り性”という仁開氏。マンション管理士やファイナンシャルプランナー、不動産コンサルティング技能士など、その他多くの免許・資格を持っているなか、自身のスキルアップのためと、今度は行政書士の資格に挑戦して勉強中だとか。

プライベートでは釣りが趣味だそうで、今の時期はイカ釣りが最高！と話していました。

お客様とのご縁を大切に、今年のテーマは『売り手よし、買い手よし、世間よし、環境よし』の四方よしの仁開商事。益々のご発展をお祈りいたします。

★沖縄線発着のＪＴＡ機内誌「Ｃｏｒａｌｗａｙ（コラルウェイ）」２０１２／５・６月号に、特集【石垣島合衆国に生きる人々】で仁開商事さんの記事大きく掲載されていま～す！

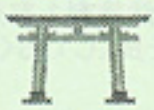
御　獄

普段は意識しないけれど、気がつけばおうちの近所にある「御獄（うたき）」。子どもの頃、おばあちゃんたちに「御獄で遊んだり、うるさくしちゃいけないよ～」と言われた経験のある方も多いのでは。

自然神をまつっている「御獄」。実は「神様の出張所」だそうです。拝む人がグイス（拝みの言葉）をあげると、これが神様を呼び出す合図に。お呼びがかかると「ニライカナイ本庁」から、出先機関である「御獄」に出向するとか。

呼び出された神様は香炉の上にヒョイと立ち、御願の内容にフムフムと耳を傾けます。その内容が妥当かどうかを検討し、「これは妥当！」と判断したら、広範囲な神様ネットワークのもと、適材適神に連絡網をまわすシステムになっているそうです。

御獄にも国会議事堂（斎場御獄／南城市）から県庁、村役場までいろいろだとか。



集落の御獄は村役場だそうですよ。

＊参考「沖縄暮らしのしきたり読本」より